

企業等連携による女性の活躍推進事業【奈良県】

地域の実情と課題

奈良県の主な課題として、女性の就業率(20～64歳)が62.8%と全国最下位であること、第1子出産を機に約6割の女性が離職するが子育て期の女性に就業希望者が多いこと、県内に働く場所が少ないこと、管理的職業従事者の女性割合が低いこと等がある。また、意識調査の結果、固定的な性別役割分担意識への肯定者割合が、男女ともに全国より高いこと等、女性の活躍促進に向けて、男女のマインド面の課題の大きいことも明らかになっている。

事業の特徴

○企業・事業所等の気運醸成と具体的な取り組みに誘導するため、新たに「なら女性活躍推進倶楽部」を創設し、キックオフイベントを開催した。

○企業等の具体的な取組を推進するため、女性活躍推進セミナーを開催した。また既に取組を進めている企業等の優良事例を収集し、HPで紹介した。

事業の効果

なら女性活躍推進倶楽部キックオフイベント「女性活躍推進トップフォーラム」でのアンケートでは、「トップフォーラムの開催は職場環境を見直す良いきっかけとなった」等の意見があり、倶楽部の創設により女性活躍推進の必要性を感じた企業・事業所が多数見られた。平成30年3月現在会員数は43であるが、さらに多くの女性活躍推進に取り組もうとする企業等に会員登録いただき、効果的な事業を実施していく。

目的・目標

目標はH32年までに「なら女性活躍推進倶楽部」の登録会員数500。「なら女性活躍推進倶楽部」の設立時期が12月であり、H29年度の会員は43である。H30年度以降に登録会員の増加に一層取り組む必要がある。

連携団体

○なら女性活躍推進倶楽部支援団体

●事業への広報協力 ●女性活躍に向けた取組を実施【構成】

経済・労働関係	16団体
人材育成関係	2団体
行政	3団体

今後の課題

県内企業・事業所に倶楽部への登録の一層の周知をはかり、会員登録していただくことが重要。また、フォーラムやセミナーのアンケート結果から、必要な取組は「意識改革」「女性の採用・育成」「働き方改革」であると考えられるので、今後の倶楽部事業としてどのようにすすめていくか検討する。

事業の概要

①「なら女性活躍推進倶楽部」の創設

○経済・労働関係、人材育成関係、行政関係者で構成されるなら女性活躍推進倶楽部企画委員会開催

平成29年9月6日 内容:今後の倶楽部の運営や事業の企画を協議、検討

○なら女性活躍推進倶楽部企画委員会 企業・事業所部会の開催

平成30年2月26日 内容:平成30年度のなら女性活躍推進倶楽部の取組について協議

○ロゴマークの作成

「働く人それぞれの職場や立場において、女性も男性も皆、その人自身が喜びをもって内から輝き活躍できる環境を皆で共創する」ことをイメージしたなら女性活躍推進倶楽部のロゴマークを作成。

会員登録した企業・事業所がチラシ・名刺等に使用可能。



②女性活躍促進トップフォーラムの開催

なら女性活躍推進倶楽部創設のキックオフイベントとしてトップフォーラムを開催。

「奈良県女性活躍推進宣言」の宣言式と、株式会社ディー・エヌ・エー南場智子代表取締役会長、損害保険ジャパン日本興亜株式会社 西澤敬二取締役社長、奈良県荒井正吾知事の3者による鼎談を実施した。

【鼎談テーマ】「奈良で興すムーブメント！
～女性が活きる経営戦略～」

【開催日】平成29年12月19日(火)14:00～16:00

【開催場所】奈良春日野国際フォーラム 能楽ホール

【参加者】約250人



③女性活躍推進セミナー開催及び優良事例収集



○女性活躍推進に取り組むため企業・事業所の管理職や人事担当者
を対象セミナーを開催

2月 8日 奈良県文化会館 参加者:企業経営者等 37名

2月14日 奈良県社会福祉総合センター 参加者:企業経営者等 27名

○優良事例収集

県内で女性活躍推進に取り組んでいる企業の優良事例を収集し、これから女性活躍推進に取り組もうとする企業・事業所の参考となるよう、奈良県女性活躍推進課のホームページに掲載